

Friedemann Friese POWER GRID

EXPANSION *France/Italy*

電力会社 イタリア/フランス

このイタリア・フランス用のゲーム盤は、「電力会社 POWER GRID」本体がないと遊べません。これ単体で遊ぶためのものではありません。下記の例外を除き、ルールは元の「電力会社」と同じです。各マップ（フランス・イタリア）ごとにルール変更があることにご注意ください。

フランス

あらまし

現在、フランスは原子力発電に注力しています。

これはゲームにおいて、ウランの潤沢な供給と、原子力発電所の登場の早さという形で反映されています。首都パリはこの国最大の大都市です。パリは「3つの」都市として表現されています。これは発電所のオーナーの興味をひく目的地となると思いますが、あまりパリに注力しすぎると、無謀なプレイヤーの破滅の原因にもなりかねません。

準備

ゲーム開始時の燃料マーケット準備の際、ウランは[5]から[16]までのマスに1つずつ置きます。

[13]の発電所はゲームから取り除きます。最初の8つの発電所をセットしたあと、[11]の発電所と「Step 3」カードをいったん脇にどけます。残りの発電所カードをよく切って、ゲーム盤の側に山札として伏せて置きます。そして「Step 3」カードを発電所の山の一番下、[11]の発電所を一番上に伏せて置きます。

ゲームの流れ

フェイス4：建設

パリは3つの都市として表されます。パリ内の各都市間の接続費はゼロで、建設に必要なのは最初の1個が10エレクトロ、2個目が15、3個目が20、それだけです。元のゲームと同様、パリ内のいずれかの都市に2個目・3個目の家を置くには、ゲームが第2段階・第3段階に入っていないなければいけません。パリ内のどの都市にも、1人で複数の家を置くことはできません。

ヒント

- パリは一見すると、最初に建設するプレイヤーに大きな優位性を提供するようにも見えます。接続費なしで3都市への建設が行えるからです。ですが、これは勝利を保証するものではありません。ゲームの早い段階で3都市を持っているというのは問題にもなり得ます。さらに、パリの西や北には比較的接続費の安いエリアが広がっています。複数のプレイヤーがこの地域から始めた場合、パリのプレイヤーがパリから出るのが高く付くこととなります。早いラウンドということでプレイヤーは小さい発電所しか持っていないはずですが、3都市あるということは燃料の購入順が最後になってしまうということです。パリに安く3都市を築いたことによる優位はすぐ消えてしまいます。
- 最初にマーケットに出てくる原発の価値を過小評価すべきではありません。次の原発が出てくるタイミング次第で、最初の原発の購入者には原子力の独占による利益がついてくるのです。
- フランス中央部（パリを含むエリア）は、ゲームから外さないことをお勧めします。外して遊ぶにはあまりに重要なエリアだからです。ただ、もし外して遊んだということでしたら、どうなったか教えてください。

イタリア

あらまし

イタリアでは、燃料がよそより限られています。石炭も石油もすぐに不足し高価になります。地形の都合により国の一部地域への接続費が高つくことと合わせて、資金がショートすることも度々です。

準備

燃料マーケットは以下のようにセットしてください。「石炭：[3]～[8]のマスまで」「石油：[4]～[8]のマスまで」「ゴミ：[5]～[8]のマスまで」「ウラン：[14]～[16]のマスまで」

作者：Friedemann Friese
アートワークとデザイン：Maura Kalusky
ルールの文章：Henning Kröpke

© 2005, 2F-Spiele, Germany



販売元
合同会社ニューゲームズオーダー
東京都立川市柴崎町2-17-1 TMビル2F
E-mail: info@newgamesorder.com
URL: http://newgamesorder.com